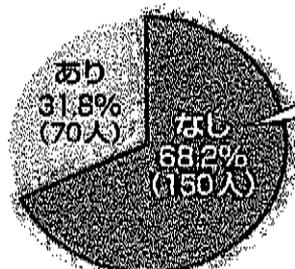


10/9 札幌

入院の子 7割基礎疾患なし

未就学児	69人
小学生	50人
乳児	22人
中学生	5人
新生児	4人



新型コロナウイルスで入院した子どもの基礎疾患の有無

(3月10日～8月15日に入院した20歳未満の220人。日本集中治療医学会の調査結果より作成)

学会コロナ調査 健康でも重症化

新型コロナウイルスに感染して3月以降に入院した20歳未満の220人を分析したところ、およそ7割は基礎疾患がなかったことが8日、日本集中治療医学会の全国調査で分かりました。

同学会は、今年3月10日～8月15日に酸素投与が必要な中等症以上で入院した20歳未満の220人を分析しました。

その結果、150人(68・2%)は基礎疾患がありませんが、健康でも重症化することもあることが改めて分かった」と分析。

生50人、乳児(生後28日以上の0歳児)22人、中学生5人、新生児(生後28日未満)4人。症状では、特徴的なせきが出る「クループ症候群」や発熱による熱性けいれん、意識障害を起す急性脳症などが目立つといます。

調査を取りまとめた兵庫県立こども病院の黒沢寛史医師は「感染者数自体が急増し、子どもでも中等症や重症となる例が増加傾向にあります。

一方、国立感染症研究所によると、1～8月に新型コロナウイルスに感染して亡くなったと報告された20歳未満の29人のうち、15人には基礎疾患がありませんでした。医療機関到着時の症状は発熱や意識障害が多かったといます。